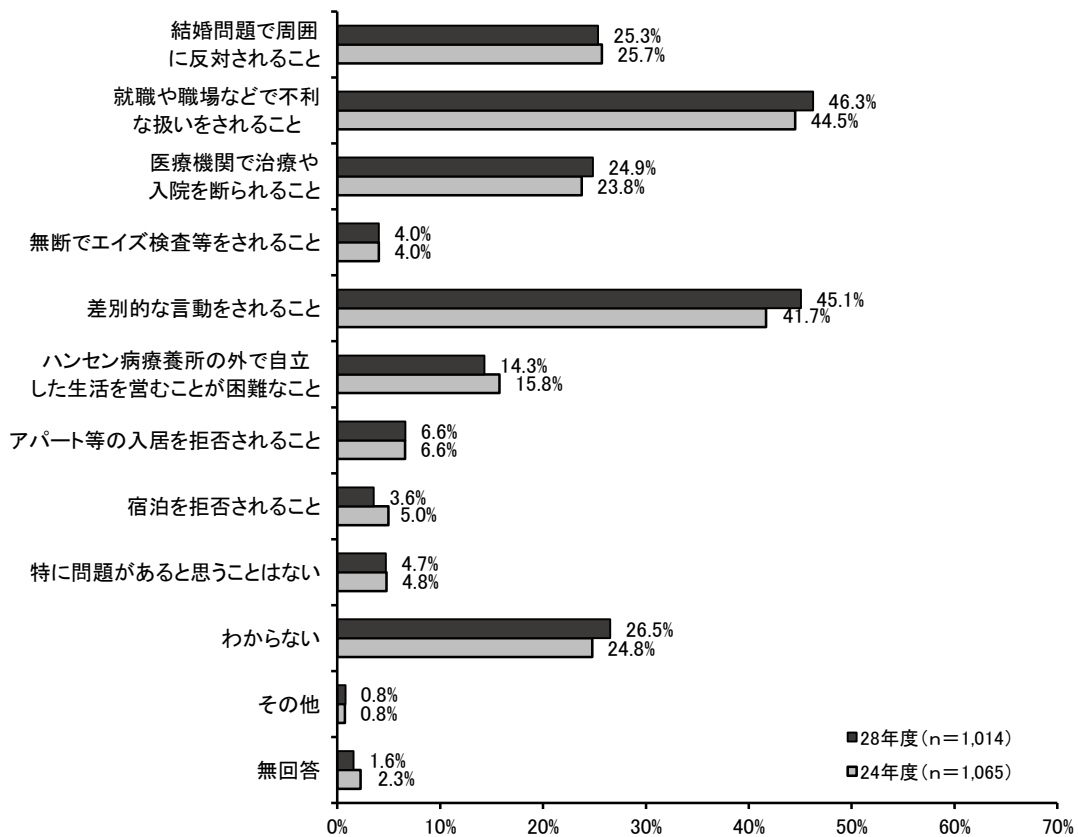


3-8 感染症患者等の人権について

(1) 感染症患者等の人権問題で、特に問題があると思うこと

問21 感染症患者等の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。



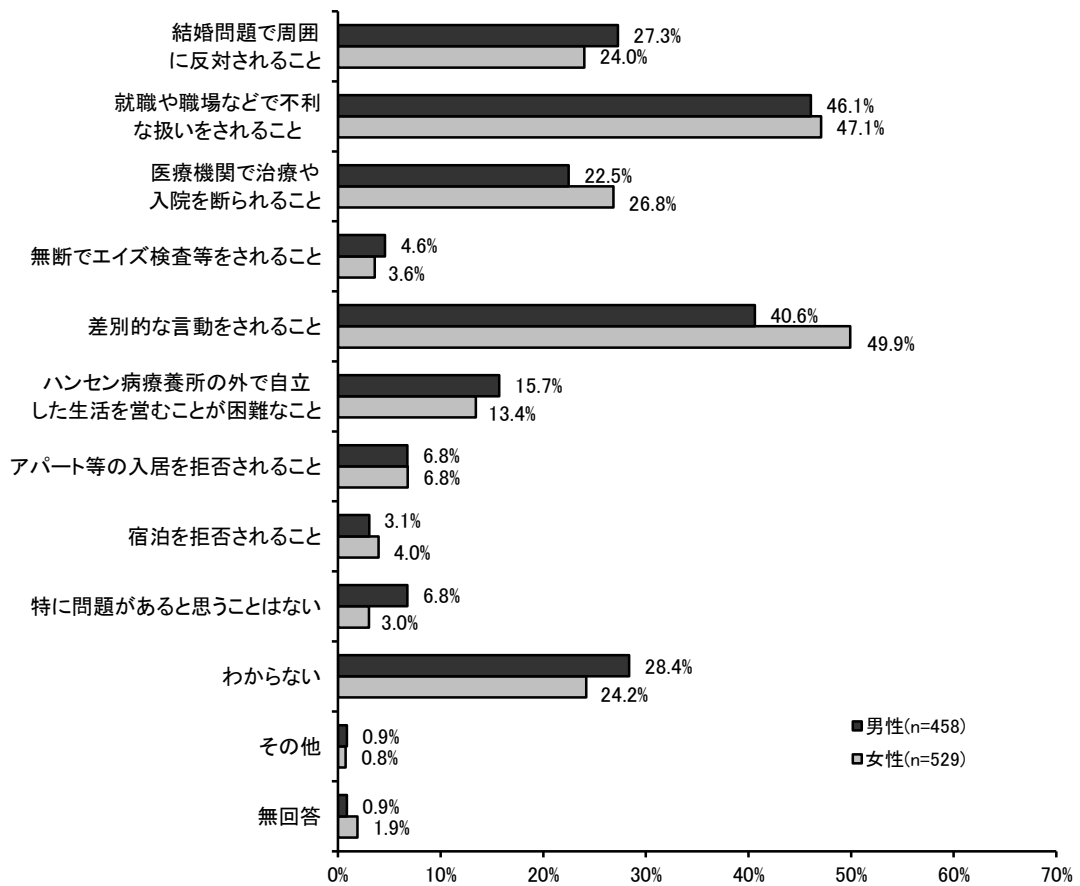
■ 「就職や職場などで不利な扱いをされること」が46.3%と最も高く、次いで「差別的な言動をされること」が45.1%、「結婚問題で周囲に反対されること」が25.3%の順となっている。

■ 「わからない」は26.5%と相対的に高くなっている。

【前回比較】

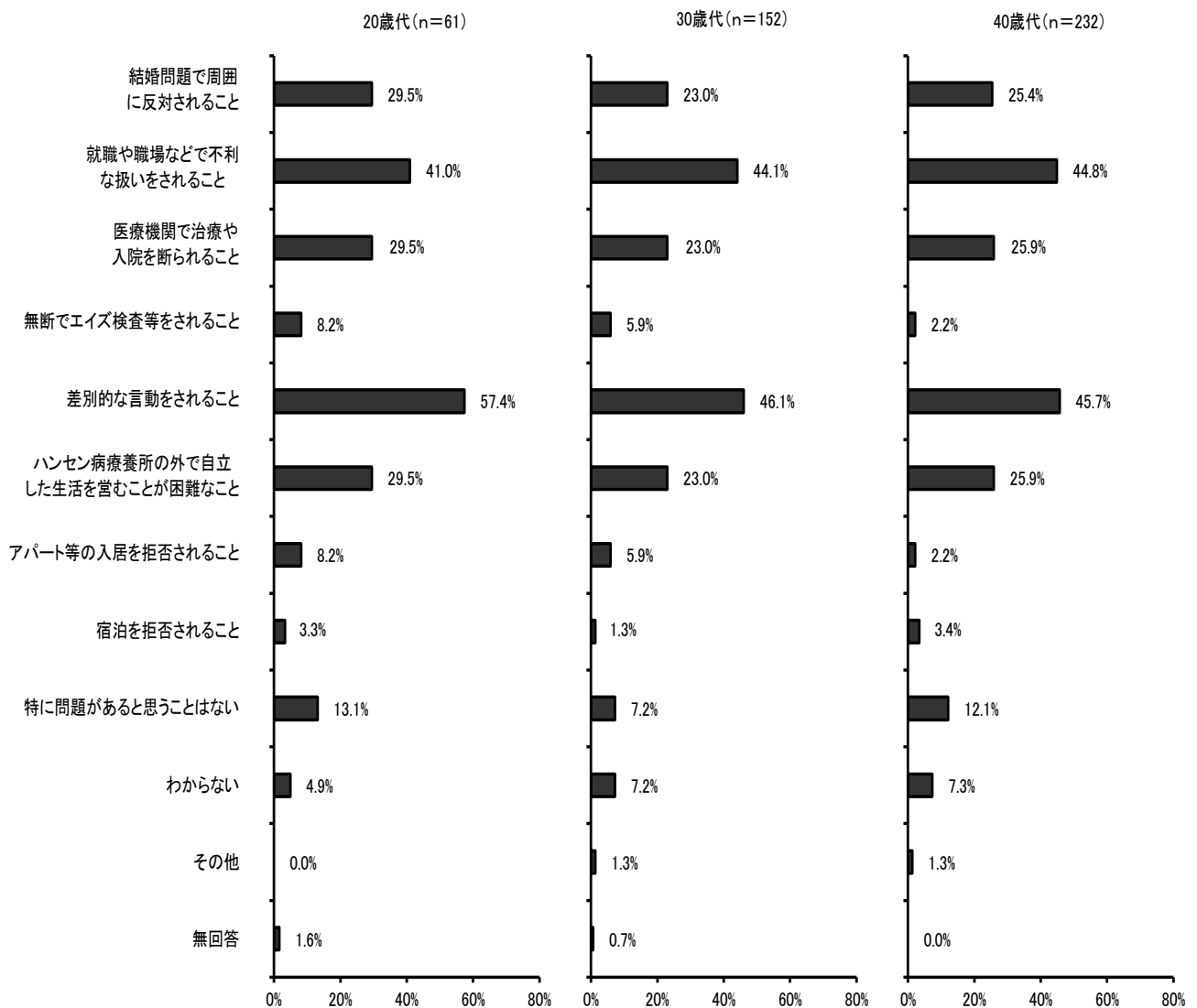
■ 「差別的な言動をされること」は前回より3.4ポイント、「就職や職場などで不利な扱いをされること」は1.8ポイント、「わからない」は1.7ポイント増加しており、「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むことが困難なこと」は1.5ポイントと減少しているが、全体的に前回との大きな違いはみられない。

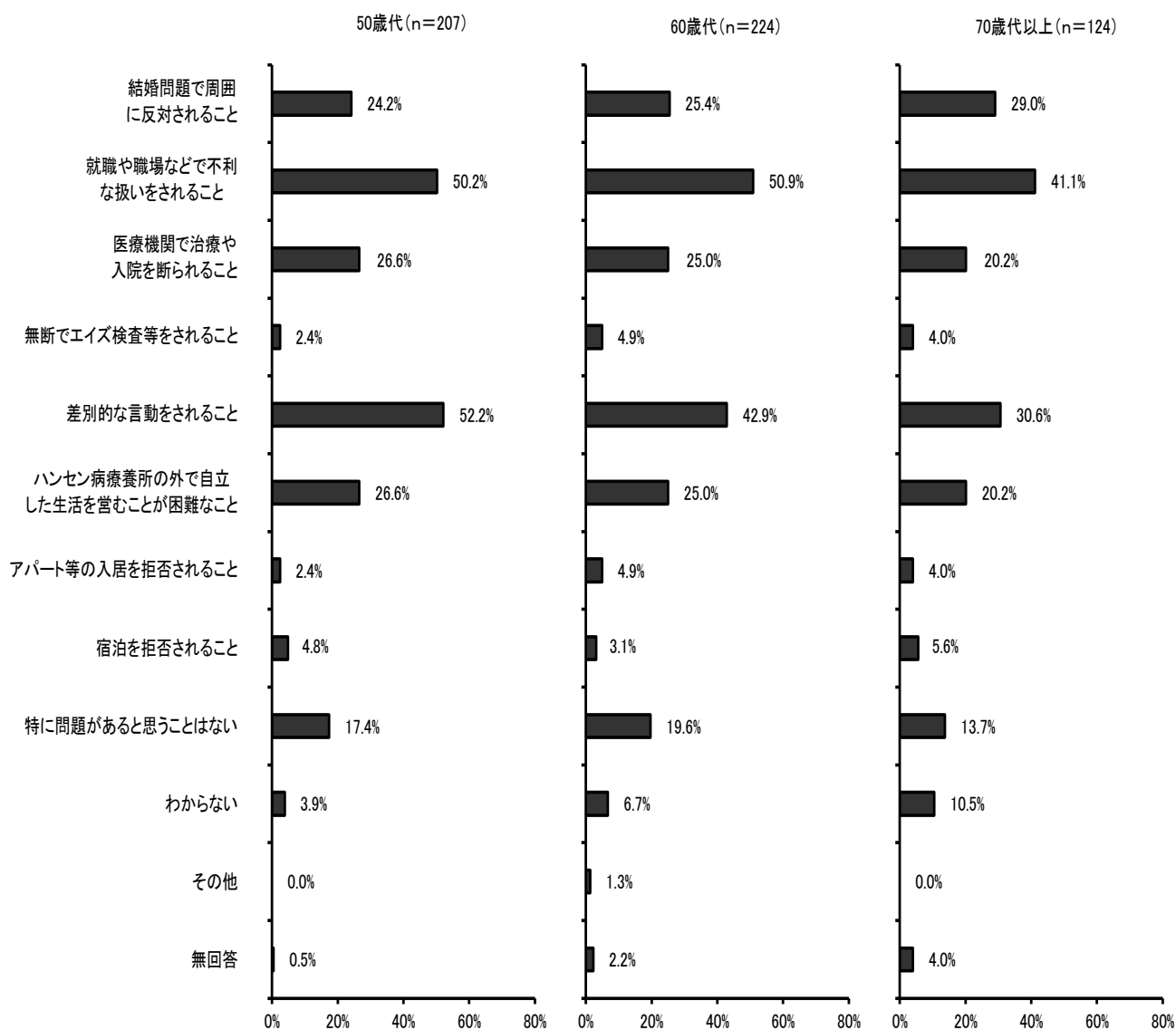
男女別



- 女性は「差別的な言動をされること」の割合が 49.9%、男性は「就職や職場などで不利な扱いをされること」が 46.1%と最も高くなっている。
- 「差別的な言動をされること」の割合は、男性の 40.6%より女性が 9.3 ポイント高くなっている。
- 「わからない」の割合は、男性で約 3 割となっている。

年代別



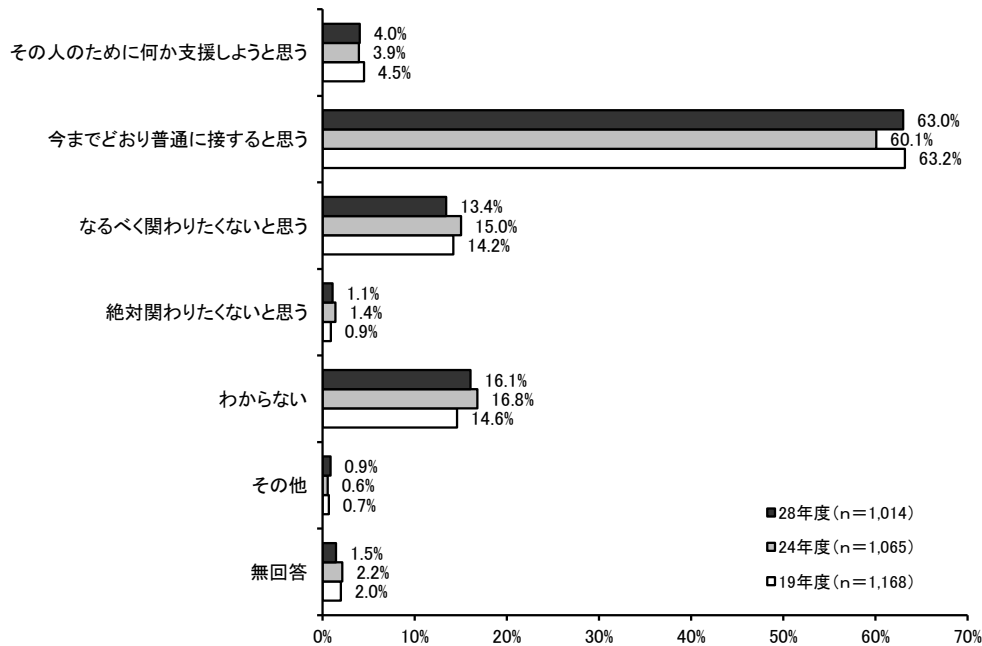


■ 20～50歳代は「差別的な言動をされること」の割合が高く、20歳代で約6割となっている。

■ 60～70歳以上は「就職や職場などで不利な扱いをされること」の割合が高く、60歳代は5割を超えている。

(2) 職場や地域に感染症患者等がいる場合の接し方

問22 あなたの職場や地域に感染症患者等がいる場合、あなたはどのような態度で接すると思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

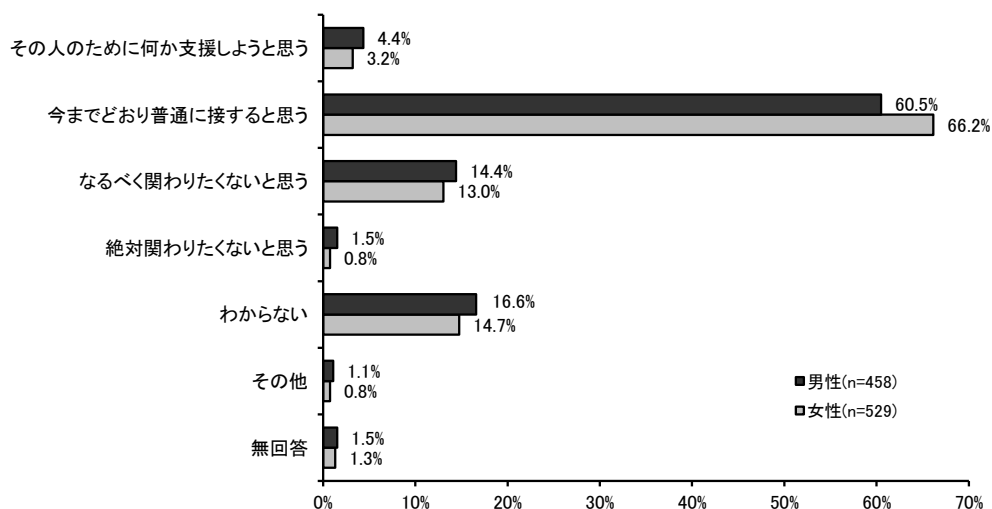


- 「今までどおり普通に接すると思う」が63.0%と最も高くなっている。
- 一方で「なるべく関わりたくないと思う」が13.4%、「絶対関わりたくないと思う」が1.1%で“関わりたくないと思う”人は14.5%となっている。

【前回・前々回比較】

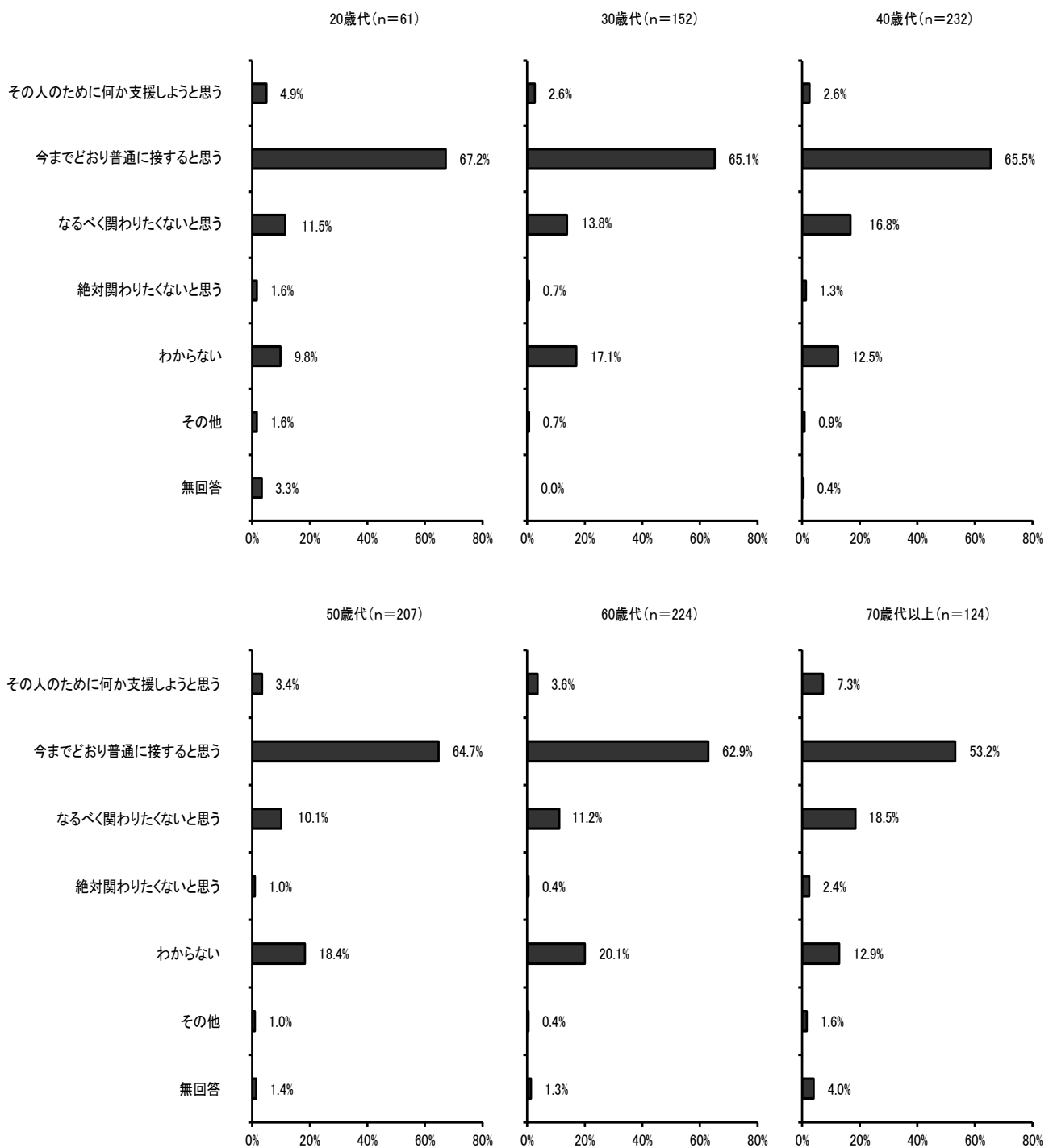
- 「今までどおり普通に接すると思う」は前回より2.9ポイント増加しており、「なるべく関わりたくないと思う」は1.6ポイント減少している。

男女別



- 男女共に「今までどおり普通に接すると思う」の割合は、6割を超えている。
- “関わりたくないと思う”人の割合は、女性の13.8%より男性が15.9%とやや高い。

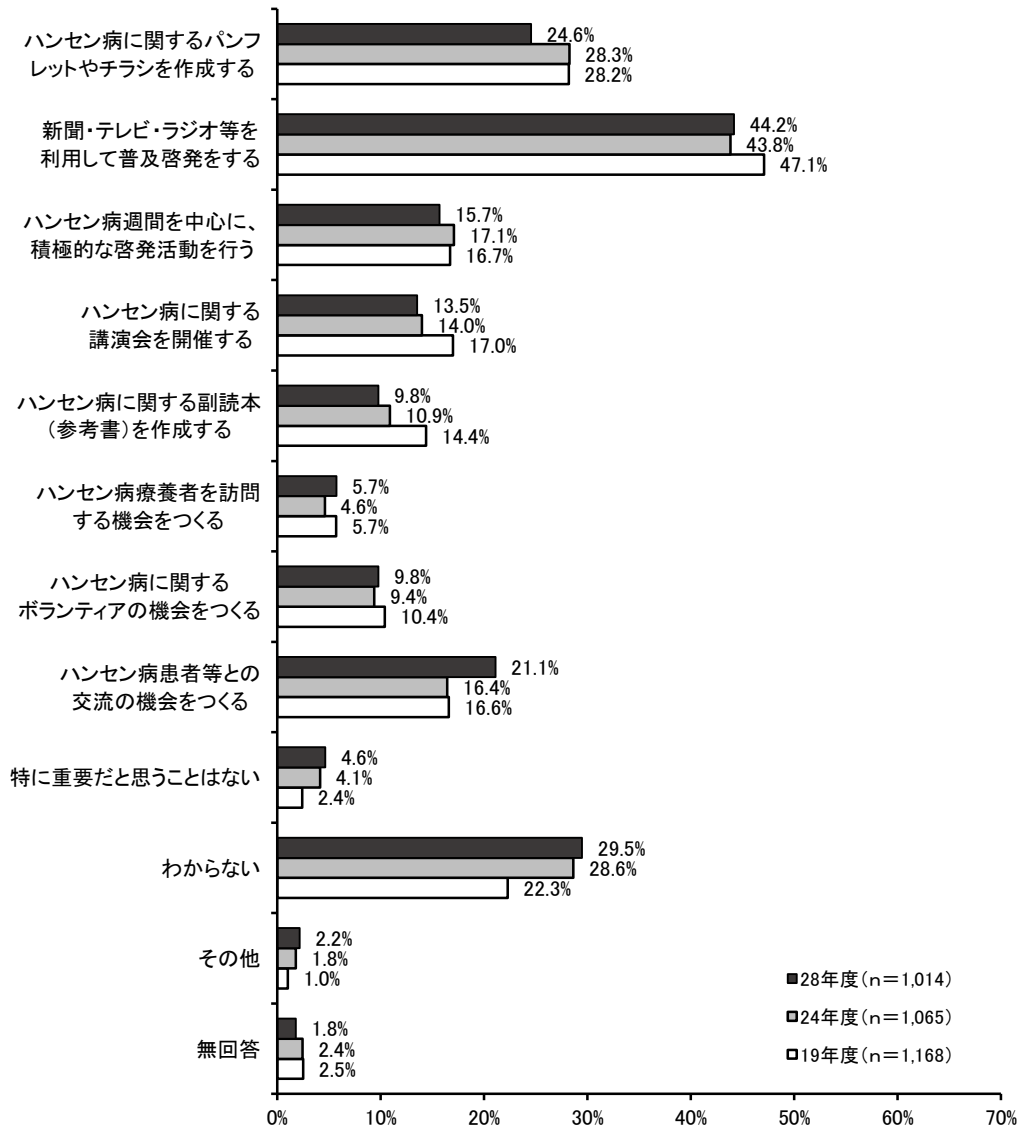
年代別



■ いずれの年代においても大きな違いはみられないが、「今までどおり普通に接すると思う」が最も高く、20～60歳代では6割を超えている。

(3) ハンセン病患者等の人権尊重や名誉回復のために必要なこと

問23 ハンセン病患者等の人権尊重や名誉回復のためには、どうしたらよいとお考えですか。
重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。



■ 「新聞・テレビ・ラジオ等を利用して普及啓発をする」が44.2%と最も高く、次いで「ハンセン病に関するパンフレットやチラシを作成する」が24.6%、「ハンセン病患者等との交流の機会をつくる」が21.1%の順となっている。

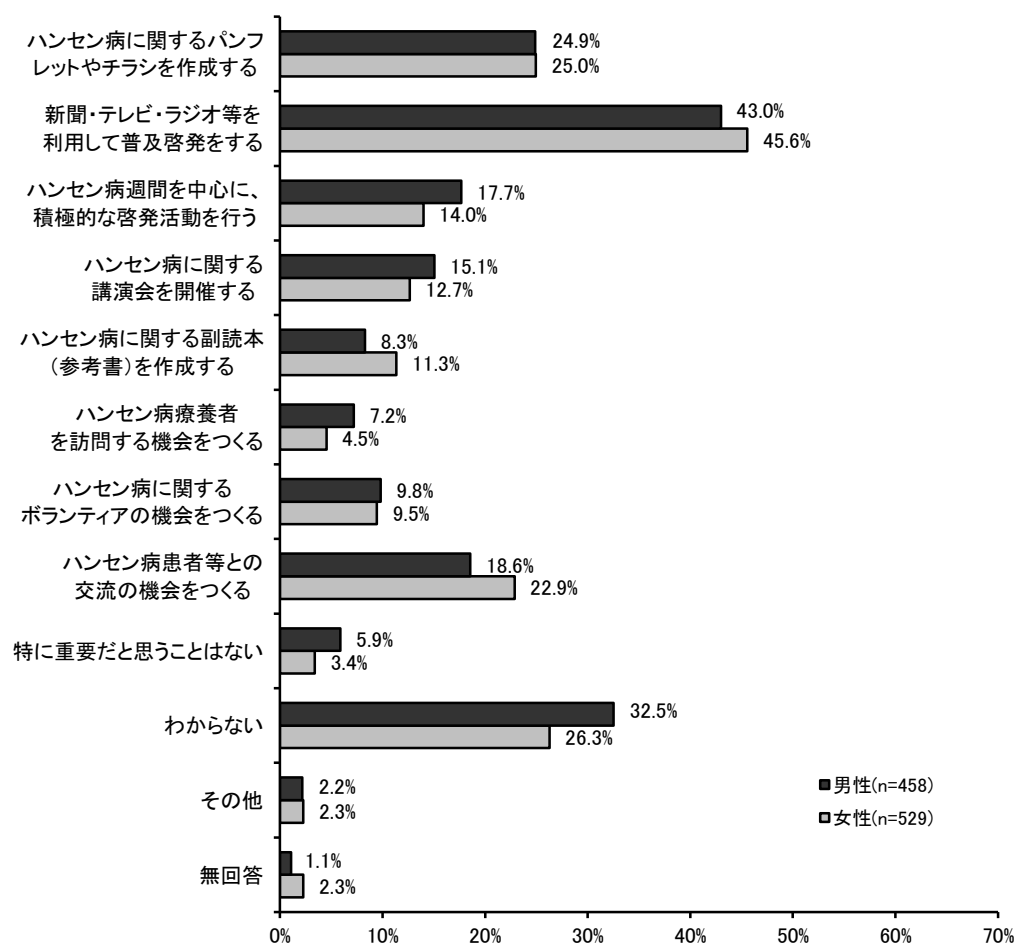
■ 「わからない」は29.5%と相対的に高くなっている。

【前回・前々回比較】

■ 「ハンセン病患者等との交流の機会をつくる」は前回の16.4%より4.7ポイント増加しており、「ハンセン病に関するパンフレットやチラシを作成する」は前回の28.3%より3.7ポイント減少している。

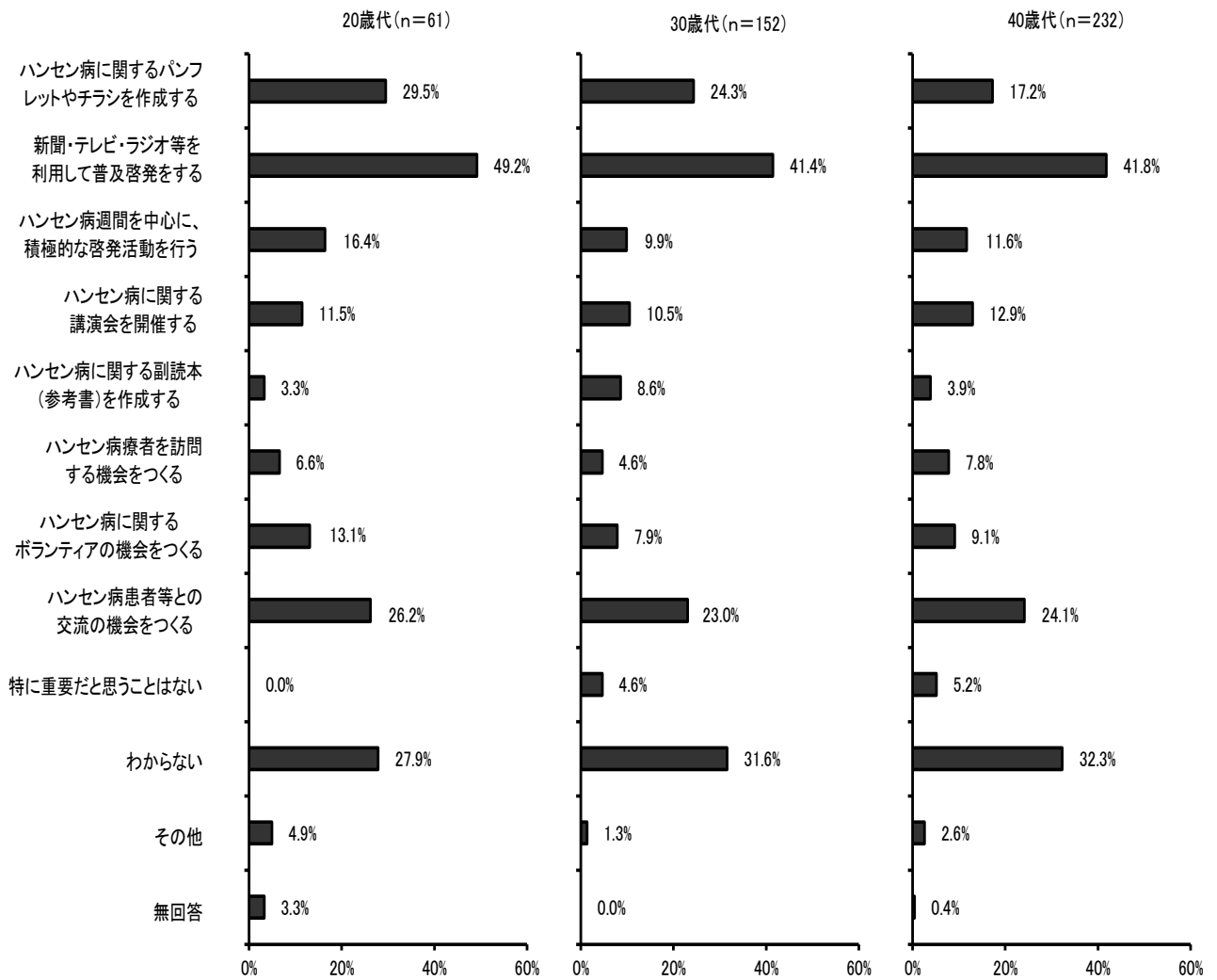
■ 「わからない」は前々回の22.3%より7.2ポイント増加している。

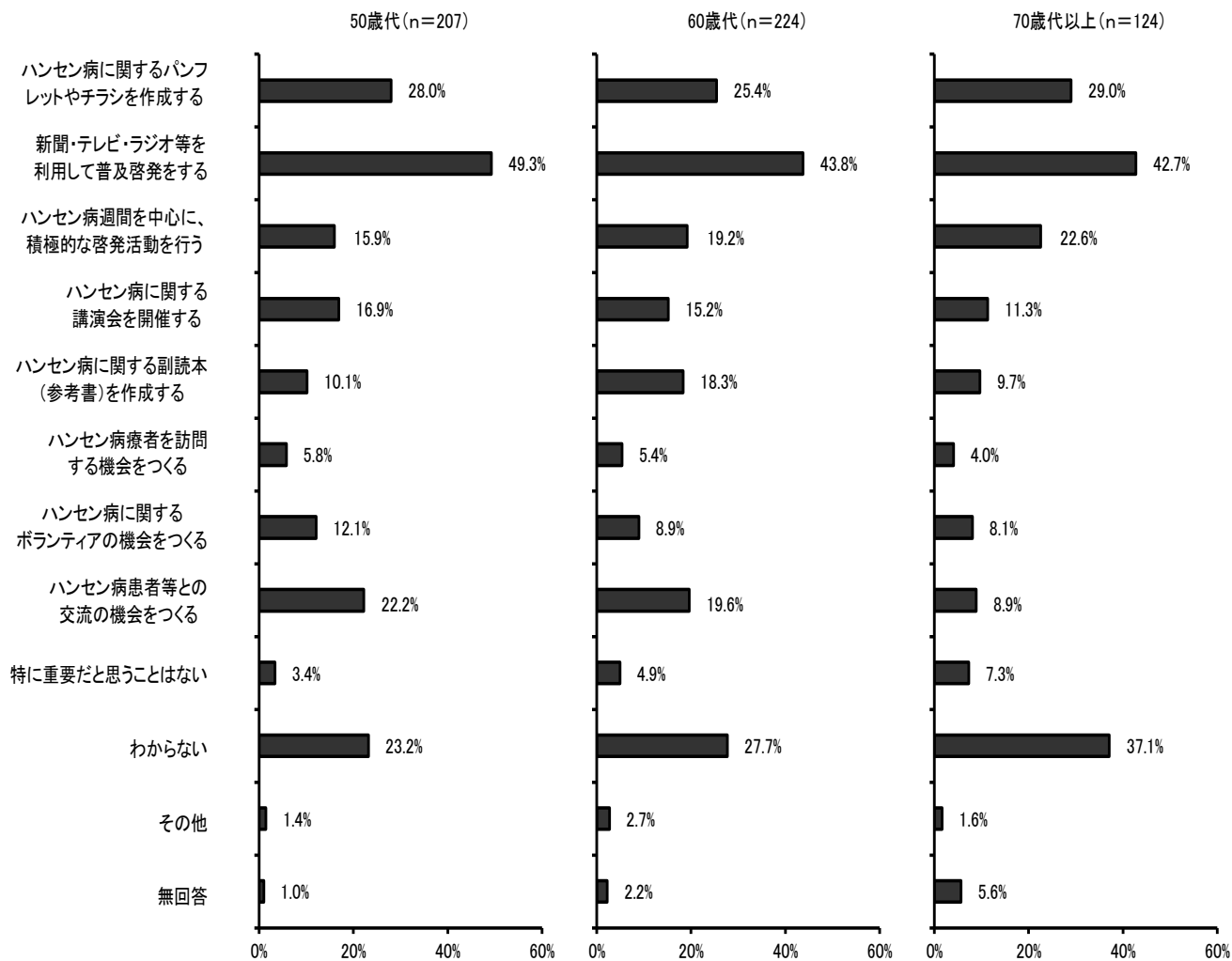
男女別



- 男女間で大きな違いはみられないが、「ハンセン病患者等との交流の機会をつくる」の割合は、女性がやや高く、「ハンセン病週間を中心に、積極的な啓発活動を行う」の割合は、男性がやや高い。
- 「わからない」の割合は、男性が3割となっている。

年代別





■70歳代以上は「ハンセン病患者等との交流の機会をつくる」がいずれの年代と比べ8.9%と低くなっている。